

発言者	発言者の概要
<p>西田教育長</p>	<p>引き続き、議案 第28号 令和3年度に使用する中学校用教科用図書の採択について議事を行う。                  まず、説明の前に、採択地区協議会の概要について、説明をお願いしたい。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>宮崎採択地区協議会の設置の目的は、義務教育諸学校の教科用図書無償措置に関する法律（いわゆる無償措置法）第13条第4項に基づき、宮崎市、綾町、国富町を併せた宮崎採択地区内の市町立小中学校で使用する教科用図書について、種目ごとに同一の教科用図書を採択するため協議するものである。                  宮崎採択地区協議会の構成員は、1市2町の教育長、教育委員代表と宮崎市・綾町・国富町の保護者代表各1名の計9名である。                  今年度は、令和3年度から使用される中学校用の教科書採択のために、第1回を6月2日に生目の杜遊古館にて、第2回を7月17日に宮崎市教育情報研修センターにて行われた。                  17日の第2回宮崎採択地区協議会においては、投票により選定する教科書を決定している。                  採択地区協議会は、種目ごとに同一の教科用図書を採択するために設置されるが、採択権は、市町教育委員会にあるので、採択地区協議会が選定した教科用図書について、市町教育委員会の同意が得られなかった場合には、協議会は再協議を行うこと、市町教育委員会は、その再協議の場に、理由を明確に記した報告書を作成して提出すること、再協議の結果については、市町教育委員会はこれに従うもの、と定められている。                  採択地区協議会の説明は、以上である。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>それでは、令和3年度に使用する中学校用教科用図書の採択について説明をお願いしたい。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>本年度3月の文部科学省初等中等教育局の通知文により、中学校用教科書については、全ての教科書について新たに採択を行うこととされている。                  中学校用教科書については、10教科16種目〔国語・書写、社会（地理・歴史・公民・地図）、数学、理科、音楽（一般・器楽）、美術、技術・家庭、保健体育、外国語、道徳〕の採択についてご審議をお願いしたい。                  このあと教科別の説明を、各担当指導主事が行う。</p>
<p>西田教育長</p>	<p>それでは、各教科の審議に入る。                  まず、国語科及び書写の教科用図書について、宮崎採択地区協議</p>

<p>事務局職員</p>	<p>会では国語及び書写ともに「光村図書」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p> <p>国語科における本地区の生徒の実態を見ると、漢字を正しく読んだり、書いたりすることについては比較的定着しており、古文や詩の音読や暗唱には意欲的に取り組み、ペアや小グループでの話し合い活動では自分の知っていることや考えたことを積極的に述べるなどのよさがある。しかし、長文や資料の内容を正確に読み取り、論理的に思考することに難があること、他者との意見交換を通して自分の考えを深めたりすることが苦手な生徒が多いこと、豊かな語彙力のもとに根拠を示したり、具体例を加えたりして説得力のある文章を書く力が十分ではないという課題が見られる。</p> <p>このような本地区の生徒の実態を踏まえると、生徒の活発な言語活動につながるような教材を取り上げるとともに、どのような力が身に付いたのかを実感できるような教材の構成や配列の工夫が見られる教科書、また、資料の紹介や読書活動への誘い等により生徒が多様な文章や表現に触れ、主体的な言語活動を営もうとする意欲を培う工夫が見られる教科書がふさわしいと考える。</p> <p>特に、採択された「光村図書」については、各教材の特性を生かして、各単元が「本教材」「小教材」「コラム」「特設教材」で構成されており、習得した「知識及び技能」を活用して「思考・判断・表現」を繰り返すことができるような工夫が見られる。</p> <p>また、古典の学習において、QRコードにより朗読音声を聞くことができるようにするなど、読みの美しい韻律を味わえるようになっている。さらに、巻頭折込、「思考の地図」を設け、さまざまな思考ツールを用いて情報を視覚化したり、自分の考えを整理したりできるようになっており、場面や状況に応じて、他教科や日常生活にも応用できるようになっている。</p>
<p>事務局職員</p>	<p>次に、書写について説明する。</p> <p>書写における本地区の生徒の実態を見ると、書写の学習に対する意欲があり、教師の指導を素直に受け入れ、よりよい作品を仕上げようと努力する生徒が多く、特に、筆、ボールペン、鉛筆など、筆記具の特徴を生かして様々な表現方法を工夫することができるというよさがある。</p> <p>しかし、習い事として書道の経験を積んでいる生徒と学校の授業のみしか筆を握らないという生徒の技量に差が大きいこと、書く際の姿勢や筆記具の持ち方など、授業で学習したことを日頃の生活の場で生かそうとする意識や技能が十分に身に付いていないという課題が見られる。</p> <p>このような本地区の実態を踏まえると、生徒の興味関心を引く教材・構成・色調などを工夫するとともに、日常生活で活用できる多</p>

	<p>くらの材料を提供する教科書、また、時節に応じた学習材に触れることができる伝統や文化の継承に繋がるような工夫が見られる教科書がふさわしいと考える。</p> <p>特に、選定された「光村図書」については、学習の流れを「考えよう」「確かめよう」「生かそう」と3段階に分けて進めることで、見通しをもって学習に取り組み、段階的に目標に到達させるような工夫が見られる。また、「学校生活」というコーナーで「行書を活用しよう」を扱い、豊富な作例を基に習得した知識や技能を他教科や社会生活に生かすことができる工夫が見られる。さらに、身近に目にするデザインと文字について考えることができるようになっていきます。このように、目的に応じた文字の使い方について考えさせることで、文字文化の豊かさを実感できる力を高められるようになっている。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。</p>
畠山委員	<p>QRコードでは、どのような資料が閲覧できるのか。</p>
事務局職員	<p>QRコードでは、例えば、話合いの仕方が分かる動画資料や、質問の仕方、対話の仕方が分かる資料、また、古典の朗読も聞くことができます。</p>
江草委員	<p>国語の教科書と書写の教科書との関連はあるのか。</p>
事務局職員	<p>教材によっては、国語の教材文を書写の教材（文）として扱っているものもある。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。国語科の教科用図書は「光村図書」でよろしいか。</p>
	<p>「異議なし」</p>
	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、書写について決議する。書写の教科用図書は「光村図書」でよろしいか。</p>
	<p>「異議なし」</p>
	<p>異議がないのでこれを採択する。</p>

西田教育長	<p>次に、社会科（地理・歴史・公民・地図）について、宮崎採択地区協議会では地理・歴史・公民を「日本文教出版」、地図を「帝国書院」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>はじめに、地理的分野について説明する。</p> <p>本教科における本地区の生徒の実態を見ると、よさとして、基礎的な学習内容の定着率が高いことや、本県の地域素材を積極的に活用しようとする意欲が高い点が挙げられる。一方で、課題としては、歴史的分野や公民的分野に比べ、やや苦手意識をもつ生徒が多いことや、資料から必要な情報を読み取り、関連付けて判断や思考をし、自分の言葉でまとめて表現することを苦手とする生徒が多いことがあげられる。</p> <p>このようなことから、本採択地区においては、「日本文教出版」の教科用図書が適切であると判断された。</p> <p>その特色について説明する。</p> <p>構成・配列の工夫については、見開きで学習課題を設定し、手がかりとなる「見方・考え方」や「地理＋α」などで追究し、最後に、理解を確かめる「確認」に取り組めるよう工夫が見られる。</p> <p>内容や指導の充実については、「知識・技能」を習得するために、作業的な学習で理解を深める「トライ」コーナーを設ける工夫が見られる。</p> <p>利便性については、生徒が読みやすいように重要語句にはすべてルビを付ける工夫が見られる。</p> <p>地理的分野については、以上である。</p>
事務局職員	<p>次に、歴史的分野について説明する。</p> <p>本地区の生徒の実態を見ると、よさとして、歴史上の人物やそれに関連する事象を調べることを好む生徒が多く、他分野よりも比較的関心が高いことがあげられる。一方、課題としては、グラフ等のさまざまな資料に基づいて、歴史的事象を多面的に考察したり、自分のことばでまとめ表現したりすることを苦手としていることが挙げられる。</p> <p>このようなことから、本採択地区においては、「日本文教出版」の教科用図書が適切であると判断された。</p> <p>その特色についてご説明する。</p> <p>構成・配列の工夫については、見開きで学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」「深めよう」などを基に追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」コーナーに取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>内容や指導の充実については、「知識・技能」を習得するために、「スキルアップ」で、系図の見方などを身に付ける工夫が見られる。</p> <p>利便性については、生徒が学習しやすくするために、各単元の見</p>

<p>事務局職員</p>	<p>出しやインデックス、ページを示す箇所の色を統一する工夫が見られる。</p> <p>歴史的分野の説明は以上である。</p> <p>次に、公民的分野について説明する。</p> <p>本地区の生徒の実態を見ると、よさとして、社会問題に対する関心は比較的高く、基礎的・基本的な学習内容の定着率も比較的良好という点が挙げられる。一方、課題としては、グラフ等のさまざまな資料に基づいて、社会的な事象を多面的に考察したり、自分のことばでまとめ表現したりすることを苦手としていることが挙げられる。</p> <p>このようなことから、本採択地区においては、「日本文教出版」の教科用図書が適切であると判断された。</p> <p>その特色について説明する。</p> <p>構成・配列の工夫については、見開きで学習課題が設定され、「見方・考え方」を働かせる「アクティビティ」などで追究し、学習内容の理解を確かめる「確認」について取り組めるよう工夫が見られる。</p> <p>内容や指導の充実については、「知識・技能」を習得するために、学習内容への理解を深める「公民＋α」コーナーを設ける工夫が見られる。</p> <p>利便性等については、学習内容とSDGsとの関連を意識するために写真資料等を設ける工夫が見られる。</p> <p>公民的分野については以上である。</p>
<p>事務局職員</p>	<p>次に、地図帳について説明する。</p> <p>本地区の生徒の実態を見ると、よさとして、地図帳を用いて、世界や日本の様々な地名などを探す活動を好む生徒が多いことや、基礎的・基本的な学習内容の定着率は高い傾向にあること、関係資料を読み取る作業的学習にも意欲的に取り組むことがあげられる。一方、課題としては、様々な資料からの情報を教科書の内容と関連付けて、多面的・多角的に考察したり、自分の言葉でまとめ、表現したりすることを苦手としていることがあげられる。</p> <p>このようなことから、本採択地区においては、「帝国書院」の地図帳が適切であると判断された。</p> <p>その特色について説明する。</p> <p>構成・配列については、地理的分野の学習に合わせ、世界と日本に分けた構成となっている。また、方位、地図記号、縮尺、索引の使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が示されている。</p> <p>内容や指導の充実については、「知識・技能」を習得するために、日本と世界の位置関係が比較できるページを掲載する工夫が見られる。また、「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、比較・関連付けがしやすい縮尺が統一された資料図を掲載する工夫が見られる。</p>

	<p>れる。さらに、南極の地名に高岡町出身の医師、「高木兼寛」を称えた高木岬を掲載している。</p> <p>利便性については、地図帳のA4判化により、地域全体が見やすくなり、特色が捉えやすくなっている。また、手話による地名の表現も掲載している。加えて、「地図活用」を手がかりに地図の見方・考え方をつかみやすくする工夫も見られる。</p> <p>地図帳については以上である。</p>
西田教育長	ただ今の説明について質問や意見があれば伺いたい。
江草委員	地図だけが発行者が違うが、他分野との関連で影響はないか。
事務局職員	地図については、3分野で使用するが、発行者の違いによる影響等はない。
源門委員	資料等はとても読みやすいが、各者で資料の数等に違いがあるのか。
事務局職員	資料の数について他者の教科書と比べると、歴史では、「日本文教出版」が最も多い。思考力・判断力・表現力の向上につながる脚注や吹き出し等（コラム・コーナー等を含む）の箇所数では、地理も歴史も「日本文教出版」が最も多い。
西田教育長	社会科では、資料が大切であるが、宮崎を扱ったものも多いのか。
事務局職員	例えば、地理の九州地方の学習では、促成栽培や肉牛の飼育、世界農業遺産等についても写真とともに紹介されている。
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。</p> <p>社会科（地理）の教科用図書は「日本文教出版」でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、社会科（歴史）について決議する。</p> <p>社会科（歴史）の教科用図書は「日本文教出版」でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>

西田教育長	<p>次に、社会科（公民）について決議する。 社会科（公民）の教科用図書は「日本文教出版」でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、地図について決議する。地図は「帝国書院」でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、数学科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「啓林館」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本教科における本採択地区の実態については、基礎的・基本的な計算技能の定着が比較的良好、意欲的に学習に取り組む姿が見られ、数学の力を伸ばしたいと考えている生徒がほとんどである。一方で、数学的な見方や考え方を生かして問題解決したり、自分の考えを数学的に表現したりすることについては課題が見られる。</p> <p>このような実態を踏まえ、数学科の目標を達成するために、本採択地区においては、次のような点に配慮して編集されている「啓林館」の教科用図書が適切であると判断する。</p> <p>その特色について説明する。</p> <p>まず、内容を精選した章末問題「学びをたしかめよう」や、個に応じて活用する「もっと練習しよう」を設定するなど、学習内容の習熟・定着を図る工夫が見られる。また、数学を学ぶ意義や有用性を実感できる題材である各節の「学習のとびら」を設定し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにするなど、構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>次に、適所に「？」を配置し、問題を広げたり深めたりする視点を示すことで、自ら問題を見いだす力を養えるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>次に、「説明しよう」「話しあおう」では、自分の考えを他者に伝える場面や他者と自分の考えを比較して考えを高めていく場面を設けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>さらに、表現する力を高めるための「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」の設定や、数学を活用する考え方を示した「利用場面」「ステップ」の設定等、数学的に表現し、問題解決する力を育む</p>

	<p>ことができるような工夫が見られる。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。</p>
柳田委員	<p>「もっと練習しよう」の項目では、全体をまとめて練習問題が並んでいるが、各章末に掲載した方が使いやすいのではないか。</p>
事務局職員	<p>各章末の練習問題としても、基本的な問題に加え、発展問題も掲載されている。授業では、これらの章末問題を解き終えた生徒が「もっと練習しよう」の問題に取り組むこともある。</p> <p>たくさんの量をこなして習熟させる意図もあり、使いやすいと考える。</p>
柳田委員	<p>副教材としては、どのようなものを扱っているのか。</p>
事務局職員	<p>副教材については、教科書に準拠した県版のワークを使用することが多く、そこでも練習問題に取り組むことができる。</p>
源門委員	<p>「学びをたしかめよう」には、QRコードが付いているが、ここでは、解き方や解答も見ることができるのか。</p>
事務局職員	<p>QRコードからが、問題を解く際のポイントや詳しい解説を見ることができる。自主学习においても有効活用できる。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。</p> <p>数学科の教科用図書は「啓林館」でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、理科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「啓林館」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本地区の実態については、よさとして、観察・実験を好み、積極的に取り組みながら、科学的に探究しようとする態度が見られる。しかし、課題としては、観察・実験について考察したことや結論を発表したり、レポートにまとめたりすることに苦手意識がある。また、自然体験の不足からくる身の回りの自然事象への興味・関心が低い傾向もある。</p> <p>そこで、科学的な探究活動における言語活動の工夫があることや身近な地域素材が豊富に取り扱われている教科書がふさわしいと考</p>



	<p>え、本採択地区においては、「啓林館」の教科書が適切であると考え る。</p> <p>その特色について説明する。</p> <p>まず、「探Qシート」といわれるシートを活用することで、観察・ 実験の計画を立てたり、結果を分析・解釈したりしながら、主体的 に考えをまとめる工夫が見られる。</p> <p>次に、地域素材の取扱いには、全学年をとおして、九州の自然 素材を34件、うち宮崎の素材を7件扱っており、他の発行者と比 べても多い。</p> <p>特に、1年生の教科書では、「新燃岳」の噴火による火山噴出物や 「高千穂峡」の凝灰岩を写真付きで解説したり、生物の多様性と進 化の学習では、「串間市の御崎馬」を紹介するなど、自然の現象や事 象に対する興味・関心を高める工夫が見られる。</p> <p>次に、単元の初めに、ダイヤモンドの結晶を題材にして、ダイナ ミックな写真を載せたり、関連する動画につながるためのQRコー ドを掲載したりしている。</p> <p>最後に、「どら焼きの皮は加熱すると、なぜ膨らむのか」という日 常生活をもとにした課題を提示し、生徒が興味・関心を高め、新た な気付きや疑問を引き出しながら、物質の成り立ちについて、探究 的に学ぶことができる工夫が見られる。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。</p> <p>理科の教科用図書は「啓林館」でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、音楽科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では 音楽（一般）及び音楽（器楽合奏）ともに「教育芸術社」を選定 しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>音楽（一般）における本採区の実態を見ると、音楽を好む 生徒が多く、特に合唱をはじめとする表現活動に意欲的に取り組み、 表現の技能も向上してきているというよさがある。一方、音楽のよ さを考える場面における思考力、表現力が十分身に付いていないと いう課題がある。</p> <p>このような実態を踏まえ、上記の目標を達成するために、本採択 地区においては、次のような点に配慮して編修されている「教育芸 術社」の教科用図書が適切であると考え</p>

	<p>その特色としては、学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全ての学年に、学習内容や教材を示した「学びの地図」が示され、学習のねらいに到達するための工夫が見られる。</p> <p>また、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「深めよう！音楽」が記載され、キャラクターの吹き出しに具体的な学習の進め方やヒントが示され、学びを確認できるようになっており、主体的・対話的で深い学びへのアプローチができるという特徴が見られる。</p> <p>次に、音楽（器楽合奏）における本地区の生徒の実態を見ると、器楽の学習に意欲的に取り組む生徒が多いものの、演奏表現を深める工夫をする場面における思考力、表現力が十分身に付いていないという課題が見られる。</p> <p>このような実態を踏まえ、上記の目標を達成するために、本採択地区においては、次のような点に配慮して編修されている「教育芸術社」の教科用図書が適切であると考えます。</p> <p>その特色として、我が国の伝統音楽については、唱歌を取り入れたり、「演奏者からのメッセージ」を掲載したりするなど、実感を伴った学びになるような工夫が見られる。</p> <p>また、学習効果や利便性を高めるために、「各部の名称」や「姿勢と構え方」等のコーナーがあり、基本的な知識や奏法について、リコーダーの運指表や替え指の紹介、郷土の奏者の写真などが記載されており、主体的に知識・技能を身に付けることができるような工夫が見られる。</p>
事務局職員	<p>次、音楽（器楽合奏）における本地区の生徒の実態を見ると、器楽の学習に意欲的に取り組む生徒が多いものの、演奏表現を深める工夫をする場面における思考力、表現力が十分身に付いていないという課題が見られる。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。</p>
源門委員	<p>QRコードについては、各者で違いがあったのか。</p>
事務局職員	<p>「教育芸術社」では、必要な個所にQRコードが掲載されており、例えば、器楽においては、様々な演奏を聴いたり、解説を読んだりすることができ、表現の工夫について理解を深めることができるようになっている。</p>
島山委員	<p>たくさんの楽曲が掲載されており、生徒たちが楽しく学べるものとなっている。また、宮崎県出身のギターリストの写真が掲載されているところもよい。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。</p> <p>音楽（一般）の教科用図書は「教育芸術社」でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p>

西田教育長	異議がないのでこれを採択する。
西田教育長	<p>次に、音楽（器楽合奏）について決議する。 音楽（器楽合奏）の教科用図書は、「教育芸術社」でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	次に、美術科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「日本文教出版」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。
事務局職員	<p>本地区の生徒の実態として、よさとしては、ものの見方が素直で、新しい表現や、いろいろな素材に興味を持って取り組む生徒が多いことが挙げられる。一方で、課題としては、生活経験の不足からか、刃物などの道具の扱い方や技能が十分身に付いていないことや、鑑賞の機会が少ないことが挙げられる。</p> <p>このような本地区の生徒の実態を踏まえると、学習のねらいが明確で、学習活動の見通しをもつことができる、技法や制作の流れがわかりやすく解説されている、鑑賞資料が充実している点で、「日本文教出版」の教科用図書がふさわしいと考える。</p> <p>その特色としては、まず、美術科の目標を達成するために、3年間の美術科の学びを見通すことができる「成長地図」の学習からスタートし、「人が生きる社会と未来」の表現・鑑賞をはじめ、自分と向き合いながら、将来の生き方を意識できるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>次に、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻末資料に「発想や構想の手立て」を示し、全題材において、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるような工夫が見られる。また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、題材の冒頭に活動や目的を示し、造形的な特徴に着目することができるような工夫が見られる。</p> <p>加えて、各題材に、「造形的な視点」として、対話が生まれるような問いを設定し、生徒が学習に取り組みやすくなる工夫が見られる。また、発達段階を考慮した題材の提示や、本県美術館所蔵作品の「白紙委任状」も掲載されており、一流の美術作品をより身近に感じさせるとともに、生徒の制作意欲を引き出すような工夫が見られる。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。
柳田委員	なぜ、2年・3年は、上下になっているのか。

事務局職員	<p>1年生は、中学校に入学して最初の段階でもあるので、1年生だけで1冊であるが、2・3年生では、目標や内容も重なることから、上・下でまとめられている。上が2年生、下が3年生という扱いである。</p>
源門委員	<p>中学校の美術は、専門外の先生が指導することも多いと聞いているが、そのような先生にとっての使いやすさということでの工夫はあるか。</p>
事務局職員	<p>各単元で、目標に合わせた問いが設定してあり、問題解決的な学習が行えるような工夫がある。生徒は、作品を制作する中で、この問いをよりどころに学習を進めることができる。このようなことから、専門外の先生にとっても使いやすいものとする。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。 美術科の教科用図書は「日本文教出版」でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、技術科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「開隆堂」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本地区の児童の実態を見ると、「ものづくりに高い関心を示し、作品作りに意欲的に取り組む。」というよさがある。一方、技術的な未熟さや知識や技能、判断力が不足しており、失敗やつまづきを自力で解決できないことや、自分で課題を見つけ、工夫し創造することに苦手さを感じているという課題がある。</p> <p>このような実態を踏まえ、本採択地区においては、「開隆堂」の教科用図書が適切であるとする。</p> <p>その特色について説明する。</p> <p>まず、教科目標の達成及び単元の構成・配列等の工夫として、内容ごとに、生活や社会の中にある技術に気付かせ、知識・技能を習得させようとしている。また、「課題設定、設計・製作等の実践、評価改善」という系統立てた流れで問題解決を図る構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>次に、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、ガードレールなどの身近なものの問いかけや解説により、科学的な原理や仕組みなどの理解につなげるなどの工夫が見られる。また、「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習の流れを見通すことが</p>

	<p>できるように「問題解決の流れ」を写真で分かりやすく示してある。</p> <p>利便性の向上のとしては、製作等では、理解しやすいよう実際の作業場面で大きな写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視し、「小学校」や「他教科」などのマークを用いたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、生徒の実態を考慮し、自ら課題を見つけ、工夫し創造する力を高めるために、クリップやボールペンなどの身近な題材で「考えてみよう」の課題が示されている。さらに、問題解決的な学習に積極的に取り組めるように「問題解決の流れ」を例示するなどの工夫も見られる。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。
畠山委員	各ページ上部に、いろんな道具の写真が掲載されているが、どのような意図があるのか。
事務局職員	ものづくりにおいては、最近の生徒は、道具に慣れ親しんでいないという実態があるということで、古い道具から最近の道具まで、様々な道具が掲載されている。例えば、ベータやVHFなど生徒が知らないものもあるが、これらも含めて身近に感じてほしいとの意図だと考える。内容に関連した道具（機材）の掲載となっている。
江草委員	宮崎県は、木材の生産も多いが、そのような材料も扱われているのか。
事務局職員	巻末の資料では、宮崎県の代表的な材料として飢肥杉が紹介されている。
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。</p> <p>技術科の教科用図書は「開隆堂」でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	次に、家庭科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「開隆堂」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。
事務局職員	本教科における本地区の生徒の実態として、よさとしては、ものづくりへの関心が高く、作品づくりや実習に意欲的に取り組む生徒が多いことや学習内容が社会生活に役立つと認識している生徒が多いことが挙げられる。しかし、実習における技能面の個人差や「防

	<p>災」「消費生活」に対する意識や実践力について不十分な傾向が見られる。</p> <p>このような本地区の実態を踏まえると、技能面の個人差への対応や安全と防災の工夫がより多く見られる教科用図書がふさわしいと考える。特に、採択された「開隆堂」では、次のような工夫が見られる。</p> <p>まず、各題材の扉となる「わたしの興味・関心」では、見開きを使って実物大写真を掲載し、視覚的に学習の動機付けを図ったり、学習前と学習後の興味・関心の変容を認識できるコーナーを提示したりしている。</p> <p>次に、各題材に随時「ふり返り」や「生活にいかそう」を提示することで、学習したことを日常生活の中で実践することができるような工夫が見られる。</p> <p>また、各題材に随時「小学校での学び」を提示することで、より系統的に学習が進められるような工夫も見られる。</p> <p>次に、QRコードを掲載し、学習内容に即した情報をすぐに取り出して学習を進めることができるような工夫が見られる。</p> <p>最後に、巻末資料として「災害から『いのちと生活』を守るために」を付し、生徒の防災・減災を日常のスタイルにする意識を高めるような工夫が見られる。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。
畠山委員	家庭科の中で、人間関係や家庭、家族についても扱っているが、各者の扱いに違いがあるのか。
事務局職員	他の教科書でも、同様に扱っているが、「開隆堂」では、生徒に興味関心をもたせ、自分の生活を振り返るということで、関連する内容が多く扱われている。
畠山委員	核家族化が進み、赤ちゃんや小さな子供を見る機会のない生徒も多いことから、「幼児とのかかわり」等も大切な内容である。
江草委員	技術科と同様に、適宜写真等で材料等が掲載されており、生徒の興味関心を高めるものだと考える。
源門委員	興味関心ということでは、四コマ漫画で考えさせるといった工夫もあり効果的だと考える。
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。</p> <p>家庭科の教科用図書は「開隆堂」でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>

西田教育長	異議がないのでこれを採択する。
西田教育長	次に、保健体育の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「学研教育みらい」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。
事務局職員	<p>本地区の生徒の実態をみると、運動に対する関心が高く、中学校校部活動や社会スポーツ団体などで運動に携わる生徒が多い。また、各学校において食に関する授業の実施や「弁当の日」を積極的に取り入れることで、食の重要性を認識し、行動につなげている生徒が多く見られる。一方で、運動やスポーツに対しての関心が低く、日常的に運動をしない生徒も多く見られることが課題である。</p> <p>このような実態を踏まえると、一つめとして健康教育に関して生きて働く内容の工夫や、二つめとして体育理論についての記述の工夫などがより多く見られる教科書がふさわしいと考えられる。</p> <p>その特色について説明する。</p> <p>食育に関する内容では、初めの「課題をつかむ」と、最後の「まとめる・深める」で、一貫性をもった分かりやすい提示の仕方が見られる。その他の単元を見て、授業のまとめで実生活に結びつくようなわかりやすい資料や設問が多く、学習したことが深い学びにつながりやすいという特徴が見られる。</p> <p>また、体育理論の内容については、体育理論の重要な部分である「運動やスポーツの価値や特性に着目し、自己の適正等に応じた『する（行う）・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付ける」という「体育の見方・考え方」について、イラストや写真が多く掲載され、運動・スポーツには様々な関わり方があることをより深く理解させる工夫が見られる。また、発展学習として、より具体的に、さらに様々なアイデアを出し合っ『スポーツをつくる』など、それぞれの楽しみ方を発展的に探求し、生涯にわたって運動・スポーツに対して主体的に取り組むことができるような工夫が見られる。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。
畠山委員	保健体育は、1年生から3年生までの内容が1冊で扱われているのか。
事務局職員	教科書では、保健と体育が扱われており、1年生から3年生までの内容が1冊で扱われている。
柳田委員	家庭分野とは、食についての内容などで重なるところもあるが、

事務局職員	<p>教科間で扱う内容に違いがあるのか。</p> <p>現在は、教科横断的に学ぶことが大切である。授業では、保健体育科の時間に、家庭科の先生を招いたり、家庭科の時間に保健体育科の先生を招いたりすることもある。</p> <p>また、各教科の記載内容を他教科の授業でも扱うといった工夫も考えられる。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。</p> <p>保健体育科の教科用図書は「学研教育みらい」でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、外国語（英語科）の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「東京書籍」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本教科における本地区の実態を見ると、素直に学び、新文型等を習得しようとする意欲は高いものがある。また、単語や文型などの基礎的な学習内容についても、概ね、定着率は高い傾向にある。加えて、読むことやALTとのコミュニケーション活動等には積極的な取組がみられる。しかし、自分の考えや思いを話したり、書いたりする表現力には大きな個人差があることや、長めのまとまった英文を読む力が十分に身に付いていない生徒が少なくないという状況が見られる。</p> <p>このようなことから、本採択地区においては、「東京書籍」の教科用図書が適切であると判断された。</p> <p>その特色については、単元の構成や配列で次の3点の特徴が見られた。</p> <p>まず、外国語科の目標を達成するために、各「Unit」を「扉」、「Preview」、「Story」、「Mini Activity」、「Unit Activity」などで構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。</p> <p>また、「Unit」での学習を踏まえ、前の「Let's Talk」や「Let's Listen」から、この「Stage Activity」と、言語を使う目的、場面、状況を意識した知識・技能の習得と活用を繰り返すなど、表現力を高めるよう工夫されている。</p> <p>次に、積極的に世界とつながろうとする心を育むための「SDGs」に関連した題材を取り上げるなどの工夫も見られる。</p> <p>内容や指導の充実に関しては、「Mini Activity」で、相手意識をもったコミュニケーション活動が豊富に設定してある。また、「Unit</p>



	<p>Activity」では、さらにふみこんで自分の考えを表現したり共有したりする場面が設定してあり、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>地域の特性や生徒の実態等の考慮については、各「Unit」内の「Story」やこの「Let's Read」では、図表などを参考にさせたり、内容を推測する問いを設けたりするなど、まとまりのある英文を読む力を育成する工夫が見られる。</p>
西田教育長	<p>ただいまの説明に対して、質問はないか。</p>
畠山委員	<p>感想であるが、日本がどんな国であるかということについては、日本から見たときと世界から見たときではイメージが異なる。教材の地図を見ると、日本という国は端の方にかすかにかいてあり、世界から見るととても小さく感じる。また、国の距離は近いようで、時差を見ると移動にかなり時間がかかることなどが分かる。英語の教科書ではあるが、言葉を通じて世界観といったものも育んでいけるような内容だと感じる。</p>
柳田委員	<p>まとまった長文を読むということでは、長文はそれほど長いものではないが、他者での扱いも同様であるか。</p>
事務局職員	<p>長文の扱いについては、各者とも同様の扱いである。ただ、学年が上がれば、文が長くなるだけでなく、使用する単語や文法など質的な難しさも加わる。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。</p> <p>外国語（英語）の教科用図書は「東京書籍」でよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>次に、道徳科の教科用図書について、宮崎採択地区協議会では「日本文教出版」を選定しているが、担当の説明をお願いしたい。</p>
事務局職員	<p>本教科における本地区の実態については、よさとしては、決まりを守る、挨拶をするなど、ルールやマナーの大切さを認識している生徒や地域との関わりを大事にし、ボランティア活動に参加する生徒が多いという実態がある。</p> <p>しかし、自分の生き方や考え方について周囲と話し合う際、自分の思いや考えを表現することへの抵抗感から、他の価値観とふれあう中で考えを深める機会をもてなかったり、相手の気持ちを考えず</p>

	<p>に発言し、不愉快な思いをさせたりするなど、時と場に応じた言動ができないなどの傾向が見られる。</p> <p>以上のことから、資料の読み取りではなく、生徒が主体的に考え、対話から議論が促されるような教科書がふさわしいと考えられる。また、どこの学校でも起こりうるいじめの問題やコミュニケーション不足、情報モラルの問題などに対し、生徒が自分の問題としてとらえ、考えられるような教科書がふさわしいと考えられる。</p> <p>特に、選定された「日本文教出版」については、「生徒が主体的に考え、対話から議論が促されるような工夫」という面で、道徳科の目標を達成するために、重要なテーマとして『いじめ』と向き合う「よりよい社会と私たち」を配置し、複数の教材やコラムをユニット化するなど、1年間の学習の流れを重視しながら、より深い学びが得られるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>また、多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるために、「プラットホーム」や「参考」というコラムのページを関連する教材の前後に設けたり、「学習の進め方」で問題解決に向けての話し合いの流れを示したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>次に「いじめ問題等の社会問題にかかわる題材の工夫」という面では、3年間を通して、いじめが起きやすい時期に、生徒にとって身近な問題を扱った教材やいじめへの理解を深めるコラムなどを複数配置することで、いじめを自分たちの問題として主体的に考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>更に、本教科書では、「学習効果や使用上の利便性を高めるための工夫」として、巻頭に「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を設け、生徒が「考え、議論する道徳」の基礎・基本を理解し、主体的に学習に取り組むことができるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、別冊の「道徳ノート」では、自分の考えや友達の意見を書く欄を設けることで、自分の意見と友達の意見を比べたり、「自分への振り返り」を通して自らの成長を実感したりすることができるなどの工夫が見られる。</p>
西田教育長	ただいまの説明に対して、質問や意見があれば伺いたい。
源門委員	他の教科書では、このような道徳ノートは付録で付いていないのか。
事務局職員	他者では、道徳ノートが付録で付いているものもあれば、別冊ではなくとも、適宜、学びを振り返って記述できるページがある。
源門委員	別冊ノートの方が使いやすいということであったのか。
事務局職員	自分の考えを記述する別冊ノートは、自分と向き合ったり、考え

	<p>議論したりする際に役に立つだけでなく、後で自分の学びを振り返ることができるということでも有効である。</p>
畠山委員	<p>感想であるが、宮崎出身の「井上康生選手」も取り上げられており、生徒も資料を身近に感じることができると思う。</p>
西田教育長	<p>質問がなければ決議する。 道徳科の教科用図書は「日本文教出版」でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議がないのでこれを採択する。</p>
西田教育長	<p>他に質問はないか。他になければ、議案第28号「令和3年度に使用する中学校用教科用図書の採択」について、ご承認いただけるか。</p> <p>( 異議なし )</p>
西田教育長	<p>議案第28号は承認された。</p> <p>以上で、第8回教育委員会定例会を終了する。</p>